

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Jun. 2023

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

# TOP MESSAGE

季節も梅雨となり、これが明けるといよいよ夏の到来である。

今年の夏も暑くなるのだろうか。

例年、線状降水帯による豪雨被害があるが防災対策にもしっかりと取り組んで参りたい。さて、これらの原因にもなっているとされるGHG（温室効果ガス）であるが、世界のGHGの約4%が牛のゲップによるものだといわれているのはご存じだろうか。体重約600kgの牛の場合、たった一日で500~600ℓものメタンガスを排出している。世界中の家畜たちから排出されるメタンガスは一日15,000億ℓにもなると試算されており、東京ドーム12,000杯にもなるのだという。

農畜産業振興機構発行の広報誌「allic」に興味深い記事を見つけた。簡単にまとめると、『豪州科学・工業研究機構（CSIRO）の研究で「カゲキノリ」を配合した餌を牛に給餌したところ、メタンを80%以上抑制することに成功した。豪州のハンバーガーチェーンでは「1つのハンバーガーで世界を変えていく」をスローガンにカゲキノリ配合餌で給餌した牛肉ハンバーガーを従来品よりも1豪ドル高い13豪ドルで販売、当初目標を大きく上回る実績を上げている。同国の持続可能な食肉消費に対する関心の高まりを垣間見ることができる。（「allic」2023年6月号より筆者抜粋）

視点の変化、創意工夫、きっかけと気付き、これらの結合。

機会を逃さず掴むべく、各所密に連携し、日々精進したい。

サンシン電気株式会社  
執行役員 清原 幸雄

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

ヨーロッパの去年1年間の平均気温は、産業革命前と比べおよそ2.3度高かった-との報告書が世界気象機関により纏められたそうです。より便利な暮らしを求めた結果が暮らし辛い環境を形作ってゆく...、何とも皮肉な結果です。私たちはより良い地球環境を後世に引き継げるようにしなければなりません。個人個人が環境意識を高め、人任せにせず、実践することが大事だと思います。(Y.Y.)

## SANSHIN Hong Kong

人々の生活水準はますます良くなっているが、病気にかかる年齢は若年齢化している。その一部の原因は、食品の質量が悪化している為だと思います。一部の業者は食品の売れ行きをよくするために、基準ぎりぎりの添加物を使用している場合があるそうです。国は食品の安全を厳しく管理し、人々が安心して食べられる食品を提供するべきだと思います。(P.L.)

## CSI

セブの季節 雨期は6月～10月・乾期は11月～5月になります。今は雨期になり、雨が良く降ります。以前(2004年)から思っている事なのですが、雨が降るとインターネットが遅くなりますので、スカイプ打ち合せの日は雨が降らない様に願っています。(K.S.)

## SANSHINWest

梅雨入りでムシムシした日が続いています。梅雨の時期は寒暖差や低気圧の影響で副交感神経優位の体調となるため、体がだるい・やる気が出ない等の心身症状が出やすいそうです。俗に言う梅雨だるです。これの軽減のためには毎日の食事で発汗作用を促し、体内の熱や湿気を放出することが大切です。温かい汁物・そば・香辛料や薬味を使った料理・豆類いも類・野菜ではきゅうりやセロリが効くそうです。また、効率よく栄養吸収ができるよう胃腸を強く保つことも大事です。梅干し・米・キノコ類・キャベツ・牛肉鶏肉などが良いそうです。冷たい食べ物に手を出しがちな季節ですが、バランスよく栄養補給をして『整えて』いきたいと思っています。(N.K.)

## SHINKOWA

今年ももう6月になりました、梅雨時期ではありますが気分転換をして、晴れの日には散歩でもして少しでも太陽の陽を浴び健康に気を付けましょう。今年の土用丑の日は7月30日ですが少し早めに滋養強壮に『うなぎ』でも食べたいですね、夏負けしなうように梅干し・うどんなど『う』の付く食べ物も良いそうです。(M.N.)

## SC2

【パプアニューギニア海産】冷凍エビを扱うこの会社では商品を汚染しないよう、香害を引き起こす洗剤が使用禁止になりました。社員は「香りか仕事か」の選択を迫られたわけですが、汚染された食品が顧客に届くことは、本来あってはなりません。その「当たり前のこと」が全く出来ていない日本において、このような取り組みは新鮮に映ります。(M.I.)

# ESG Report (品質)

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

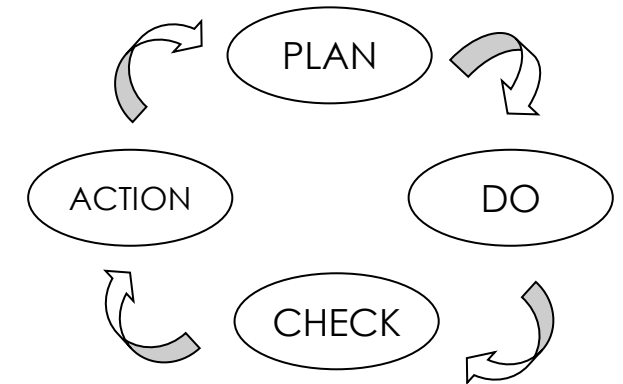
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



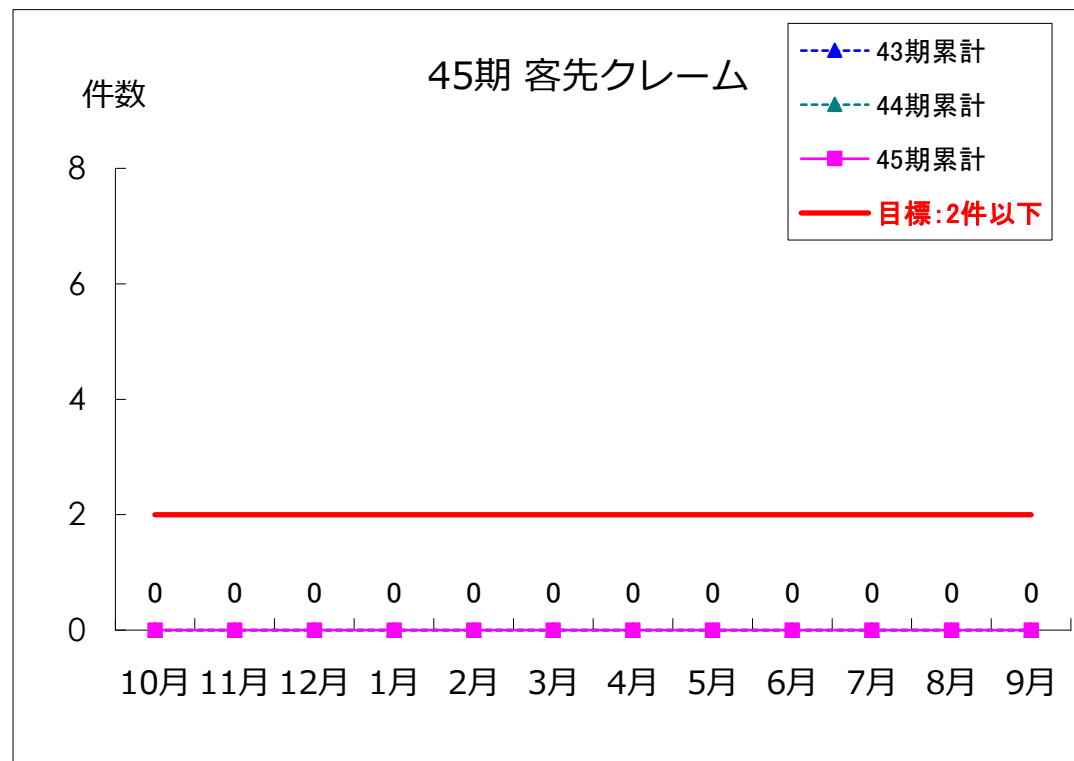
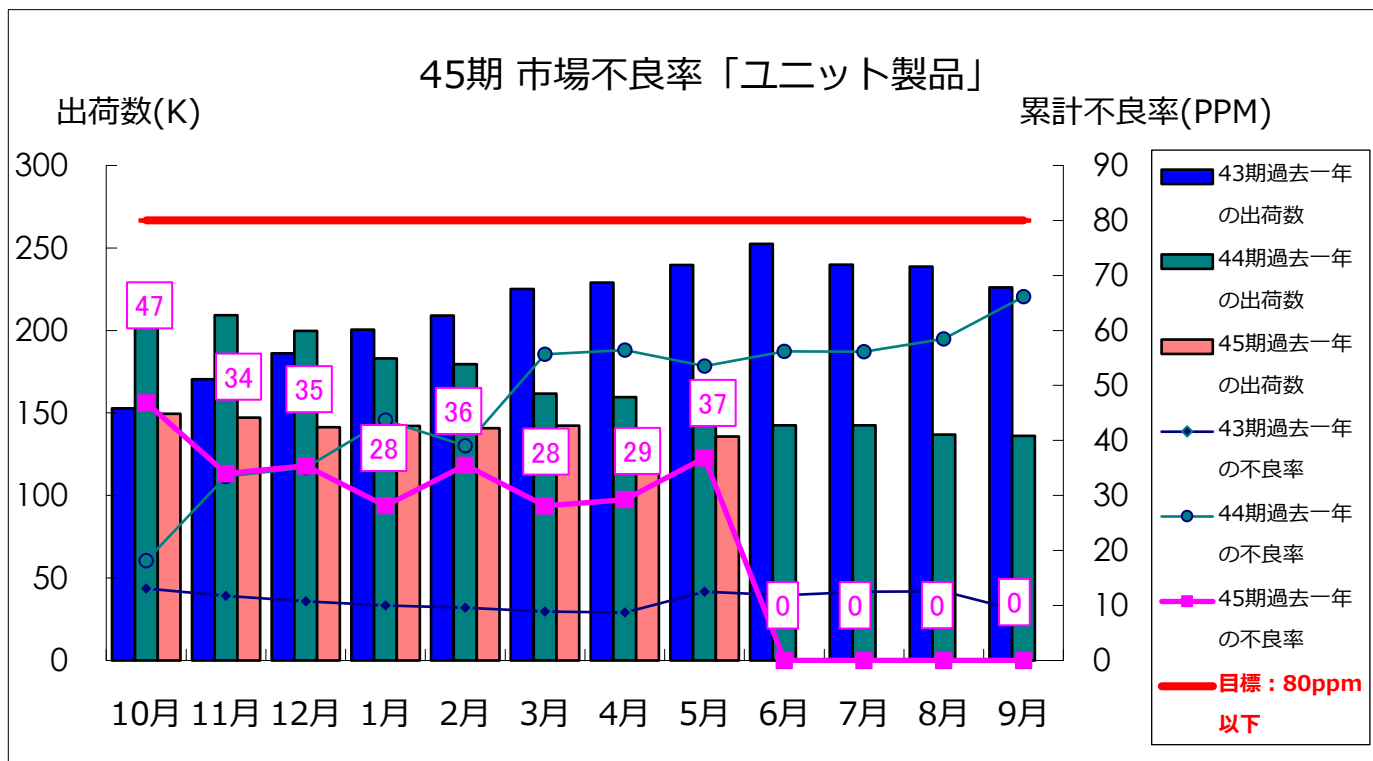
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

# 品質状況

納入品不良率 (目標 : 80ppm)  
45期の累計不良率(解析依頼含む) : 37ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件





# ESG Report (環境)

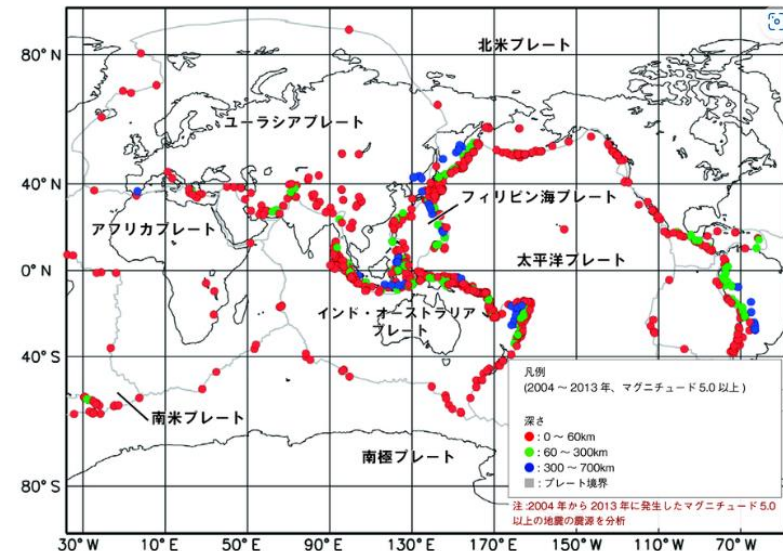
# 今月のTOPICS

## ■ 日本は地震が多い？規模や頻度や被害から見てみよう

先日、都内の防災館に行ってまいりました。火災発生時の避難や地震体験など貴重な体験が出来ました。最近では海外から訪問される方が非常に多いとの事で、私が行った時も海外の方が多く見受けられました。特に欧米の方が多く、住まいが地震の少ない地域の為、地震体験を希望される方が多いのだそうです。日本は地震の多い国ですが、2月にはトルコ・シリア国境でも大きな地震が起きています。今回は日本だけではなく海外での地震についても見てみました。

## ☑地震の規模の世界ランキング

まずは地震の規模に関する世界のランキングを見てみます。地震の規模とは震度ではなくマグニチュードのことで、マグニチュードは「地震のエネルギーの大きさ（規模）を表す数値」のことをいいます。ちなみに震度は、その場所でどれだけの揺れが観測されたかという「地震の揺れの強さ」を表す数値です（国際基準ではありません）。マグニチュードの大きさはマグニチュードが7以上の地震を大地震、マグニチュードが8以上の地震を巨大地震といった目安が定められています。



# 今月のTOPICS

## ■ 日本は地震が多い？規模や頻度や被害から見てみよう

アメリカ地質調査所（USGS）の調査による1900年以降に発生した地震の規模のランキングでは、世界で観測史上最大の地震はチリ地震（1960年5月22日）で、マグニチュードは9.5でした。

日本で発生した地震では、東日本大震災として知られている東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）が世界で4番目に大きい地震となっており、マグニチュードは9.0（気象庁）でした。

その他の世界の地震規模の大きさのランキングは以下の通りです。

順位	地震名	発生日月	発生場所	マグニチュード
1	チリ地震（バルディビア地震）	1960年5月23日	バルディビア近海（チリ）	9.5
2	アラスカ地震	1964年3月28日	アラスカ州中南部プリンス・ウィリアム湾（アメリカ）	9.2
3	スマトラ島沖地震	2004年12月26日	西部スマトラ島北西沖（インドネシア）	9.1
4	東北地方太平洋沖地震	2011年3月11日	三陸沖（日本）	9.0
	カムチャツカ地震	1952年11月5日	カムチャツカ半島沖（ロシア）	9.0
6	チリ地震（チリ中部地震）	2010年2月27日	マウリ沖（チリ）	8.8
	エクアドル・コロンビア地震	1906年2月1日	エクアドル沖（エクアドル・コロンビア）	8.8
8	アリューシャン地震（ラット諸島地震）	1965年2月4日	アリューシャン列島ラット諸島近海	8.7
9	アッサム・チベット地震（アッサム地震）	1950年8月15日	マクマホン・ライン南部（インド・チベット）	8.6
	アリューシャン地震	1957年3月9日	アリューシャン列島 アダック島付近（アメリカ）	8.6
	スマトラ島沖地震（ニアス島沖地震）	2005年3月29日	スマトラ島北部ニアス島付近（インドネシア）	8.6
	スマトラ島沖地震	2012年4月11日	スマトラ島北西沖（インドネシア）	8.6

このように地震の規模を世界で比較してみると、過去に世界では日本で起きた震災よりも大きな地震がたくさん発生していることがわかると同時に、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）がランキング4位にはいるほどの規模の大きさであったことを、改めて知ることができます。

# 今月のTOPICS

## ■ 日本は地震が多い？規模や頻度や被害から見てみよう

### ☐地震の発生数の世界ランキング

続いて地震の発生数を世界ランキングを見てみます。国連開発計画（UNDP）の世界報告書「災害リスクの軽減に向けて」～開発に課せられた課題」によると、1980年から2000年までの間で「マグニチュード5.5以上の地震が発生する年平均」のランキングトップは中国となっており、1位～10位までの順位は次の通りです。この結果によると1980～2000年の間、日本は発生頻度で世界ランキング4位ということになり、やはり世界の中でも地震大国であることがうかがい知れます。

順位	国名	年平均回数 (1980～2000年)
1	中国	2.10
2	インドネシア	1.62
3	イラン	1.43
4	日本	1.14
5	アフガニスタン	0.81
6	トルコ	0.76
7	メキシコ	0.76
8	インド	0.67
9	パキスタン	0.62
10	ペルー	0.62

UNDP世界報告書より

### ☐世界の地震の被害は？

では地震による人的・経済的な被害は世界ではどのようになっているのでしょうか。1900年以降に起きた地震による死者・行方不明者の数の上位は次のようになっています。

順位	地震名（国名）	発生日月日	死者・行方不明者数（概数）
1	唐山地震（中国）	1976年7月28日	242,000
2	スマトラ島沖地震（インドネシア）	2004年12月26日	226,000
3	ハイチ地震（ハイチ共和国）	2010年1月12日	222,600
4	海原地震（中国）	1920年12月16日	180,000
5	アシガバート地震（旧ソ連）	1948年10月6日	110,000
6	関東大震災（日本）	1923年	143,000
7	四川地震（中国）	2008年5月12日	87,500
8	メッセーナ地震（イタリア）	1908年12月28日	75,000
9	甘肅地震（中国）	1932年12月25日	70,000
10	アンカシュ地震（ペルー）	1970年5月31日	70,000

内閣府：令和3年版防災白書より

# 今月のTOPICS

## ■ 日本は地震が多い？規模や頻度や被害から見てみよう

一方で経済的損失という観点から被害状況を見ると、また異なった結果となっています。1900年以降に発生した地震の経済的な被害額のトップ3は次の通りです。

1位：東日本大震災 32.8兆円

2位：阪神淡路大震災 21.3兆円

3位：四川大地震 17.5兆円

なんと日本で起きた大きな震災が世界でもトップ2となっており、以下四川大地震（中国）、ノースリッジ地震（アメリカ 9.4兆円）と続いています。

おなじく地震の多い中国などと比較しても国土の大きさが随分異なり、小さな国土の人口密度も高いエリアで起きる地震によって被る経済的損失は大きく、日本は地震によって人的にも経済的にも甚大な被害を受けていると言えます。

# 今月のTOPICS

## ■ 日本は地震が多い？規模や頻度や被害から見てみよう

☑日本の地震対策は世界からも評価されている

このように地震が多く、大地震の際の被害も大きくなりがちな地震大国の日本ですが、その地震対策は世界でも評価されています。住宅・施設・ライフラインやインフラ等の整備、警報・ハザードマップ・各種情報提供等、日本では過去に起きた地震災害を教訓に細やかな対策を策定・実施し、現在も更新し続けています。避難訓練や地震速報の周知によって、地震が起きたときの行動も国民がよく理解しているといわれています。また、建物の耐震化の促進においても、建物被害の状況などから見ても効果が得られています。

今までの地震災害を振り返ってみると、災害の大小に係わらず日本人は「冷静な判断」「自助努力と他者と調和」「共に助け合う協調性」などを感じさせる報道が、地震災害の際多く世界に発信されています。海外で地震が発生した場合、揺れの直後に避難を開始することも多いといわれています。多くの人が冷静さを欠き、1秒でも早く建物から逃げようと混乱に陥ります。しかし日本人は、大きな揺れが収まるまで安全を保つ姿勢や状況を確保し、これからのしなければいけない状況分析をしつつ避難を行うのです。そういった行動が、元からできている訳ではありません。日本人の元から持つ気質とも言われますが、小さい頃から行われている避難訓練や、避難場所の認知や経路の確保など、日頃の防災意識の高さも行動に表れているとも言えます。日々培われてきた経験やノウハウ、それを活かそうとする分析力です。また、これからの地震から命を守るために必要となる「建物に対する地震対策」もそのひとつです。揺れが収まるまで耐えられる建物づくりをすることが、今1番重要視されています。すぐに避難することにより起こる被害を防止するためには、その時間を確保することが重要なのです。

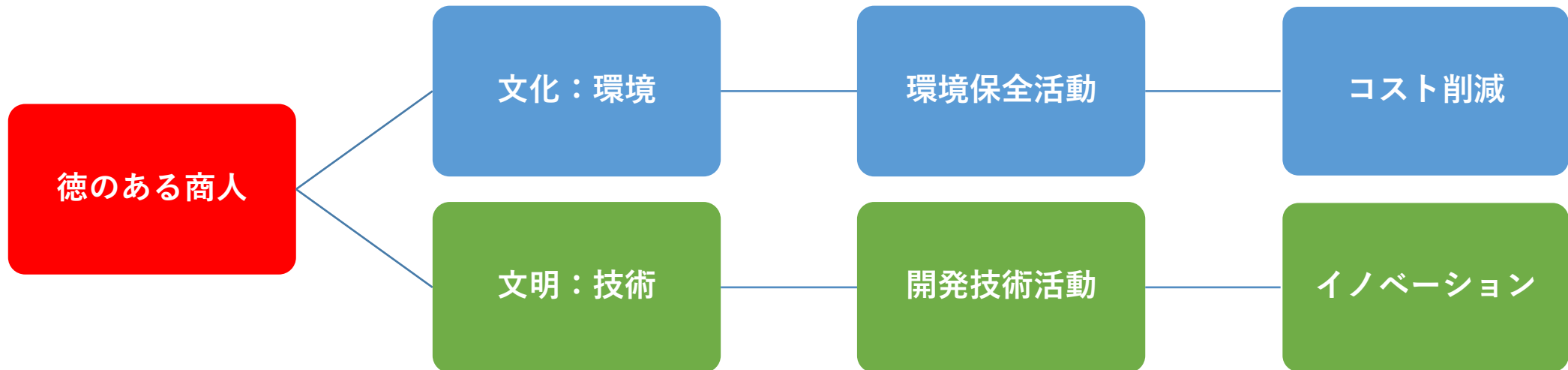
# サンシングループ環境経営への歩み

# 1. 環境経営の基本マインド

\* サンシングループ経営理念

私たちは お客様を愛し お客様から愛される

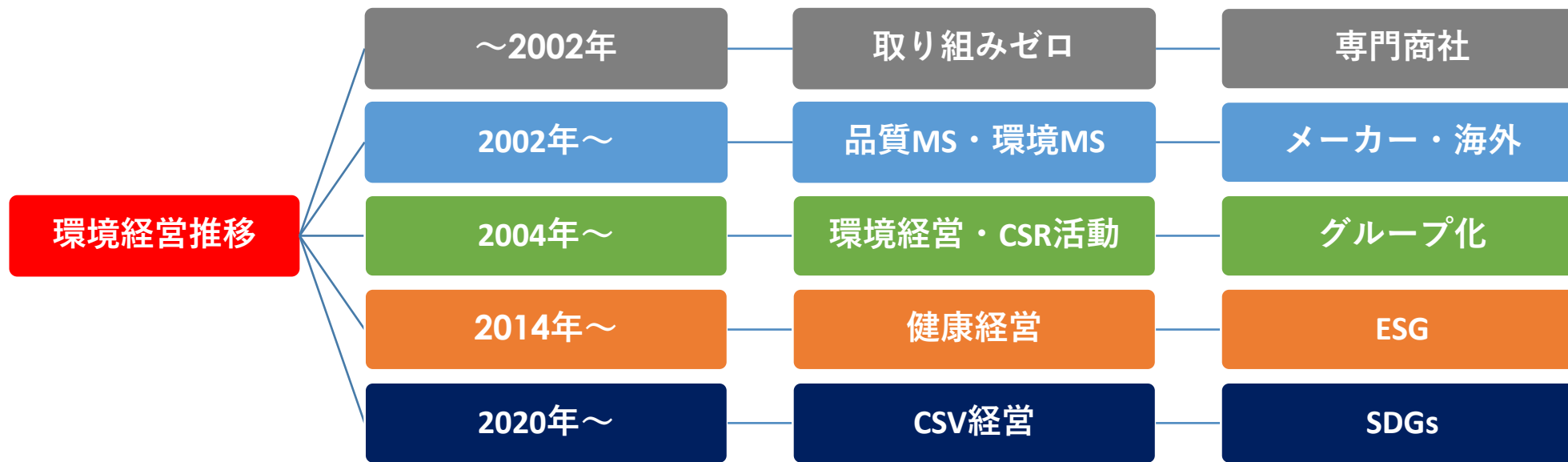
徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために





## 2. 環境への取り組み

### 2002年から現在までの経緯



## 2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

**健康経営**を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

**CSV経営**を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

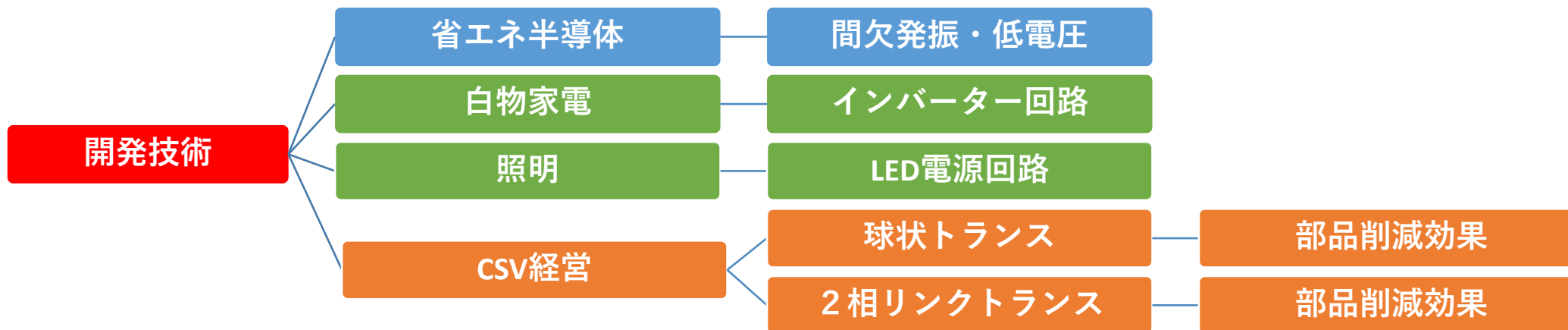
### 3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
  - **テレワーク**による電気/交通費削減
  - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
  - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
  - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

## 4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



## 4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

**LED照明用**の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

**環境とイノベーションを結び付けた技術開発**

**CSV経営 モノ×コト = 価値創造**

## 5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）  
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
  - 4：輸送配送
  - 5：廃棄物
  - 6：出張交通費（旅費除く）
  - 7：従業員交通費

## 6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



# 活動報告

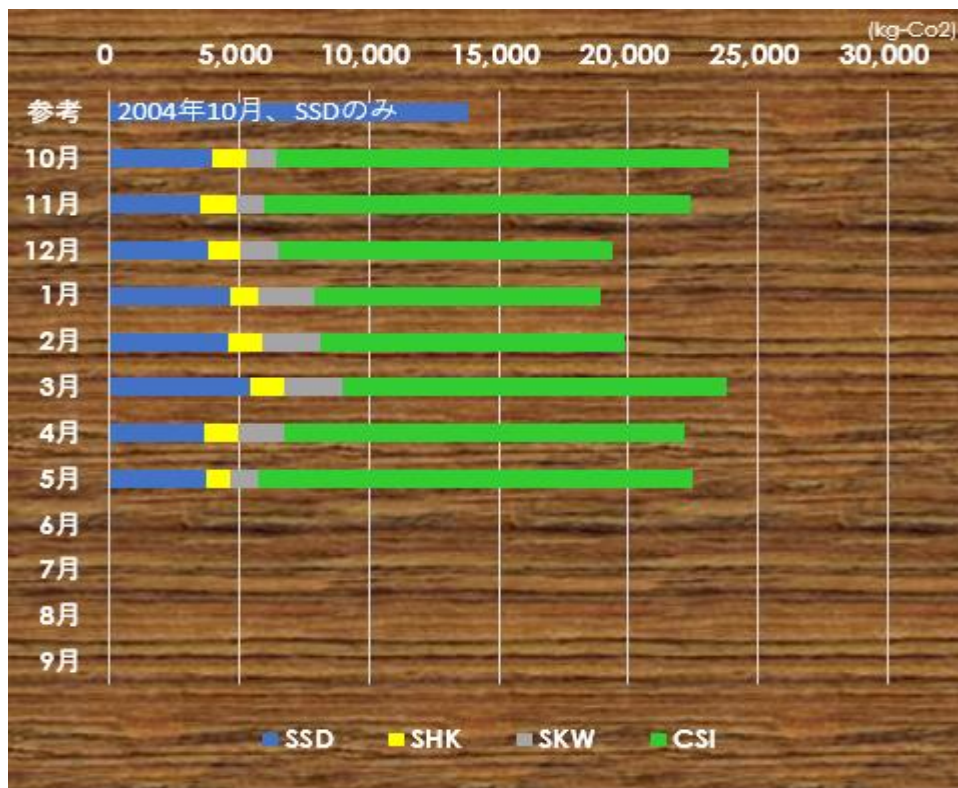
- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量



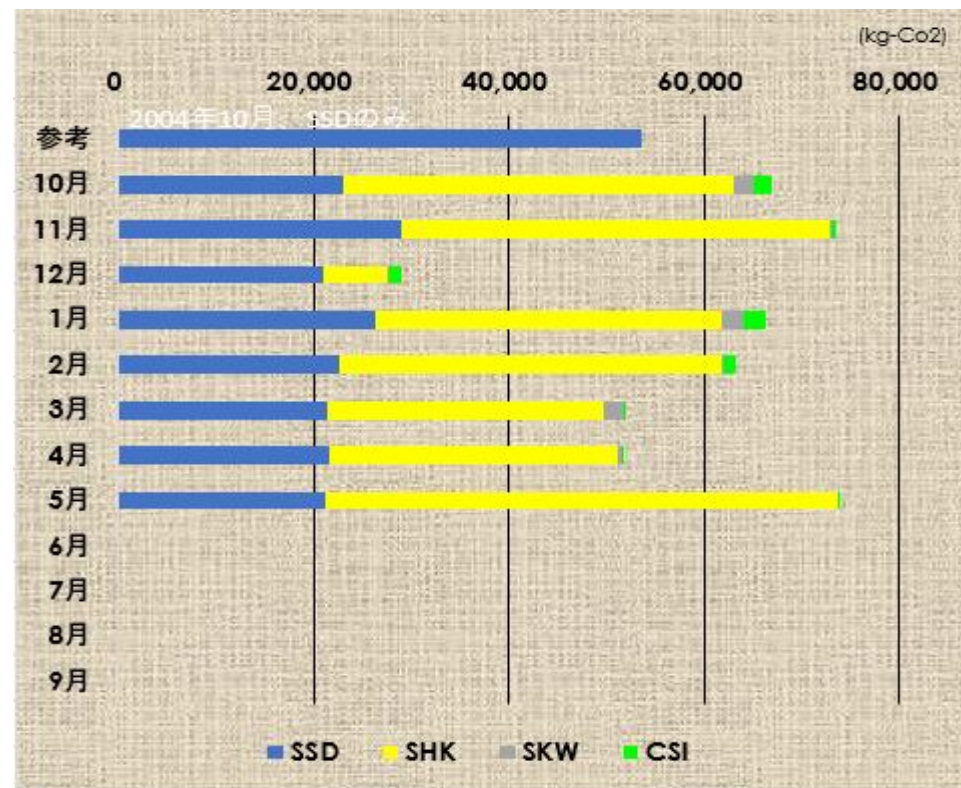
# SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

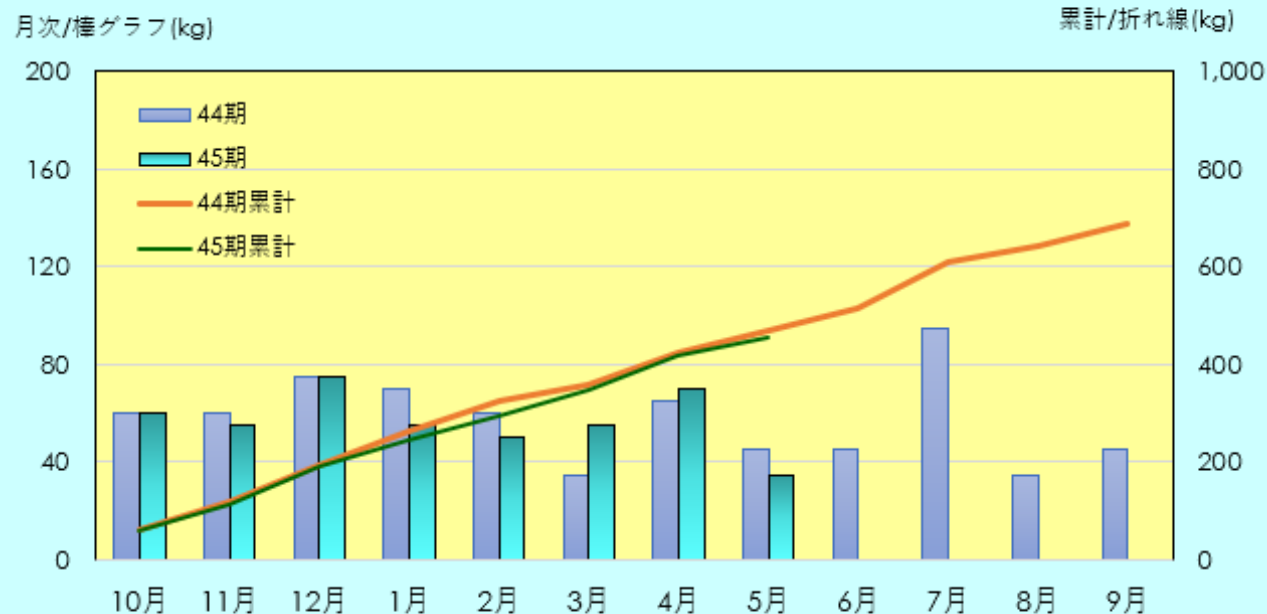
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



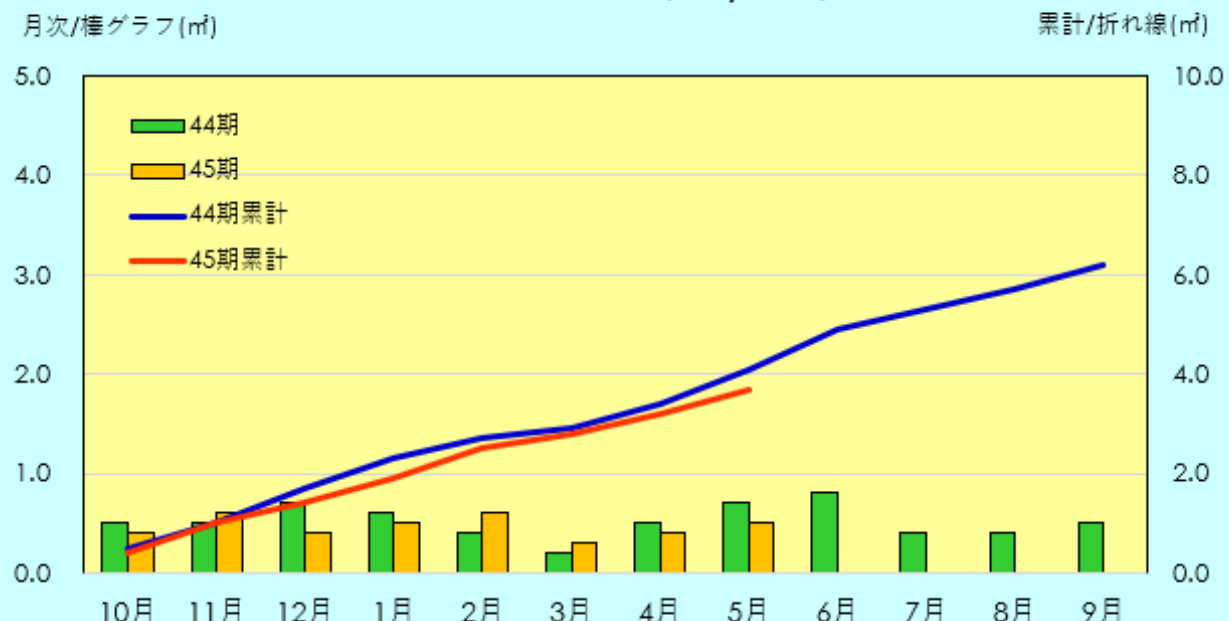
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



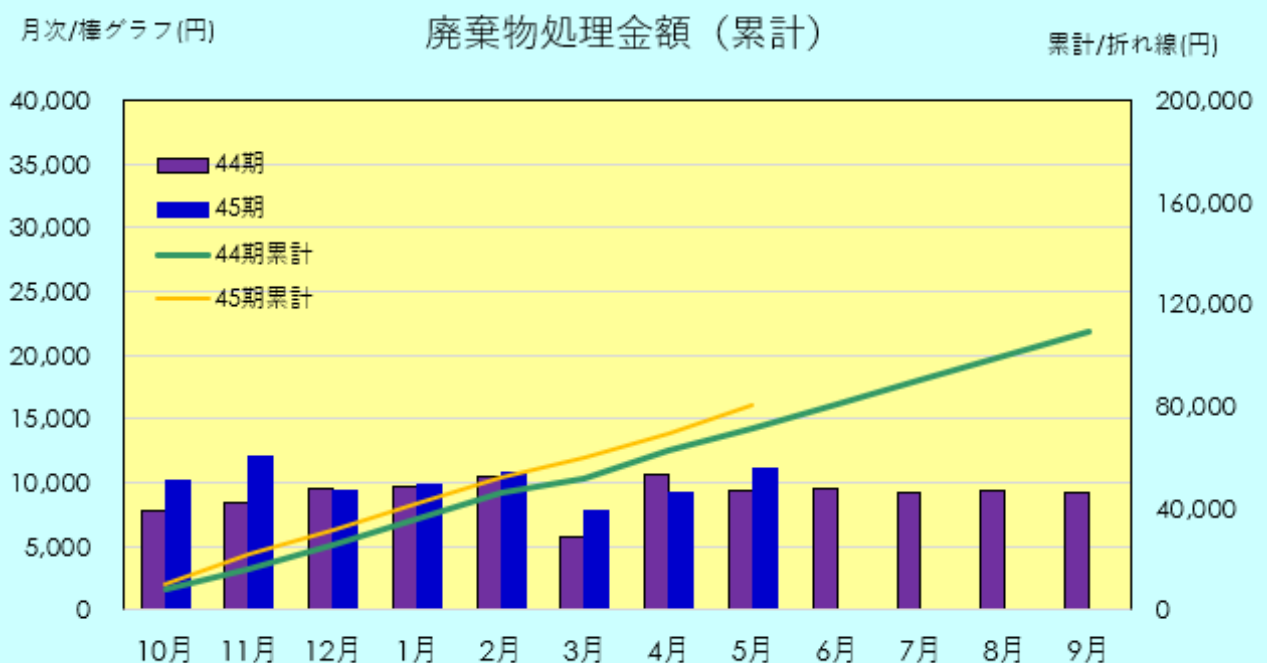
### 一般廃棄物 (SSD/本社)



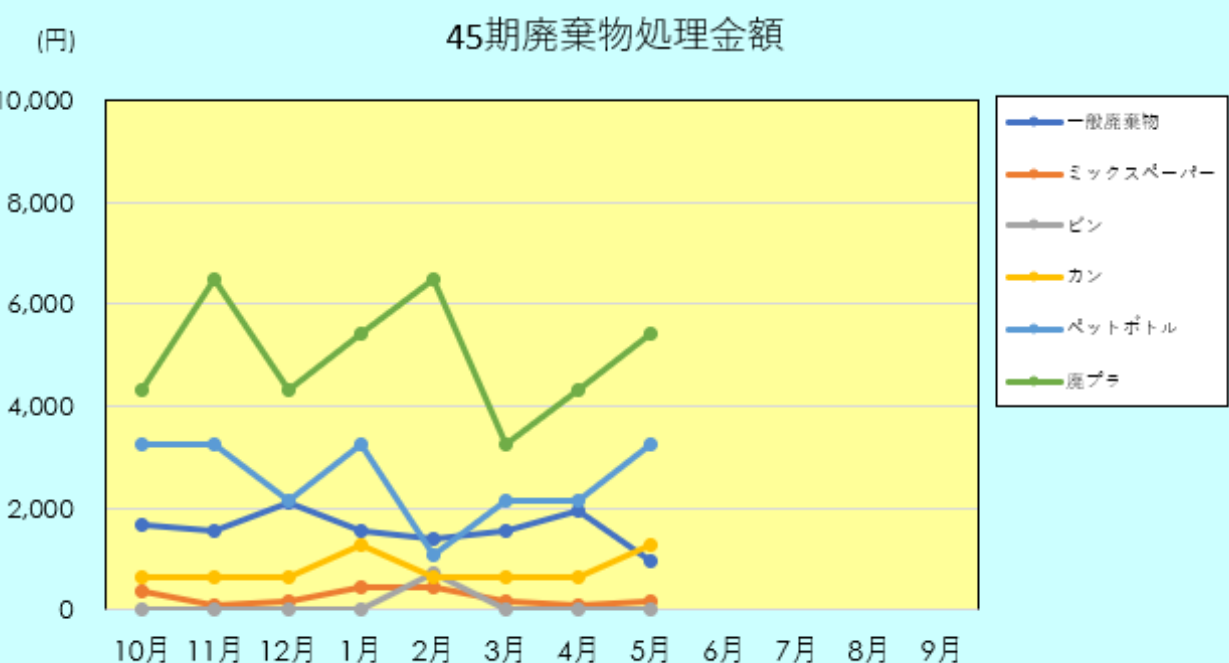
### 一般産業廃棄物 (SSD/本社)



### 廃棄物処理金額 (累計)



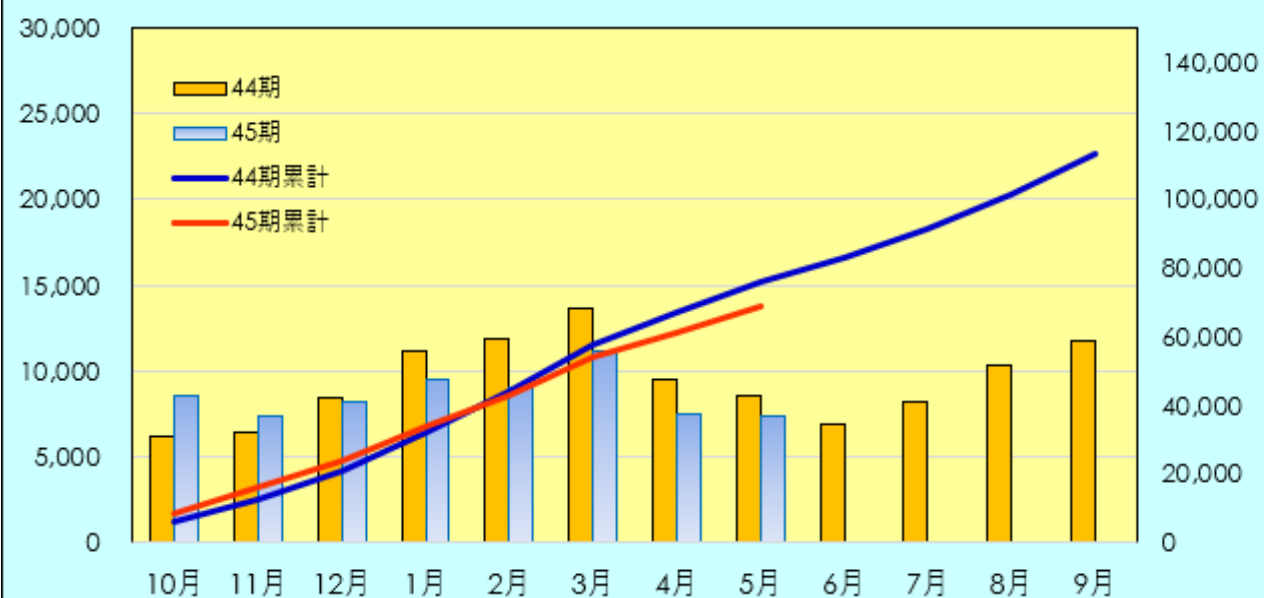
### 45期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

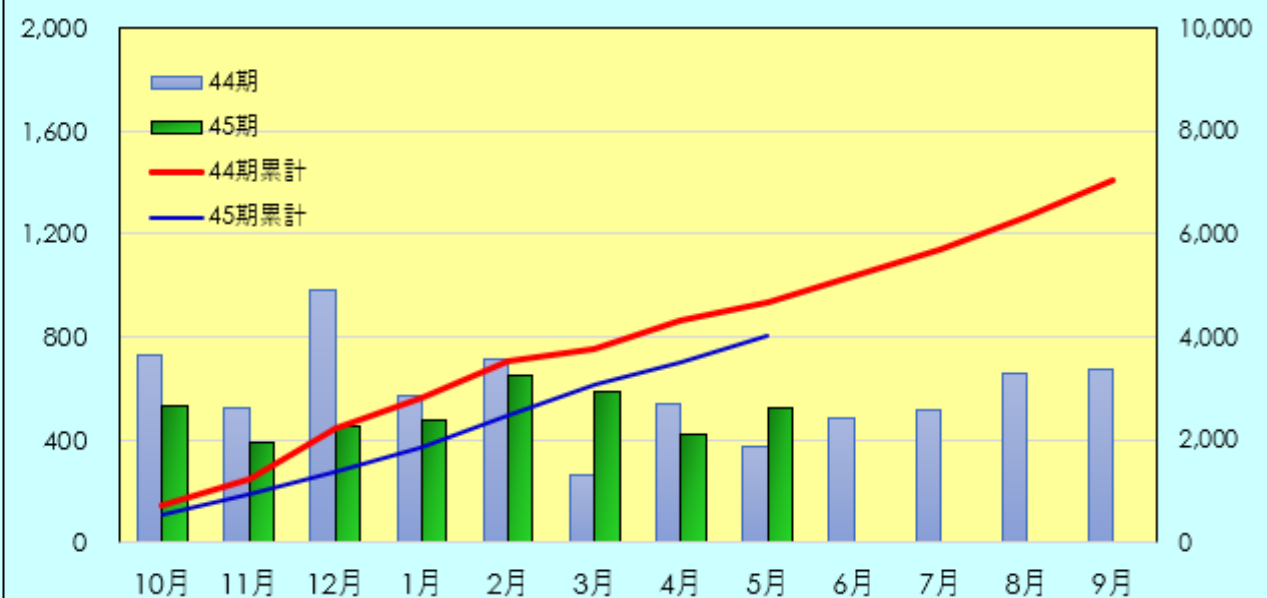
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

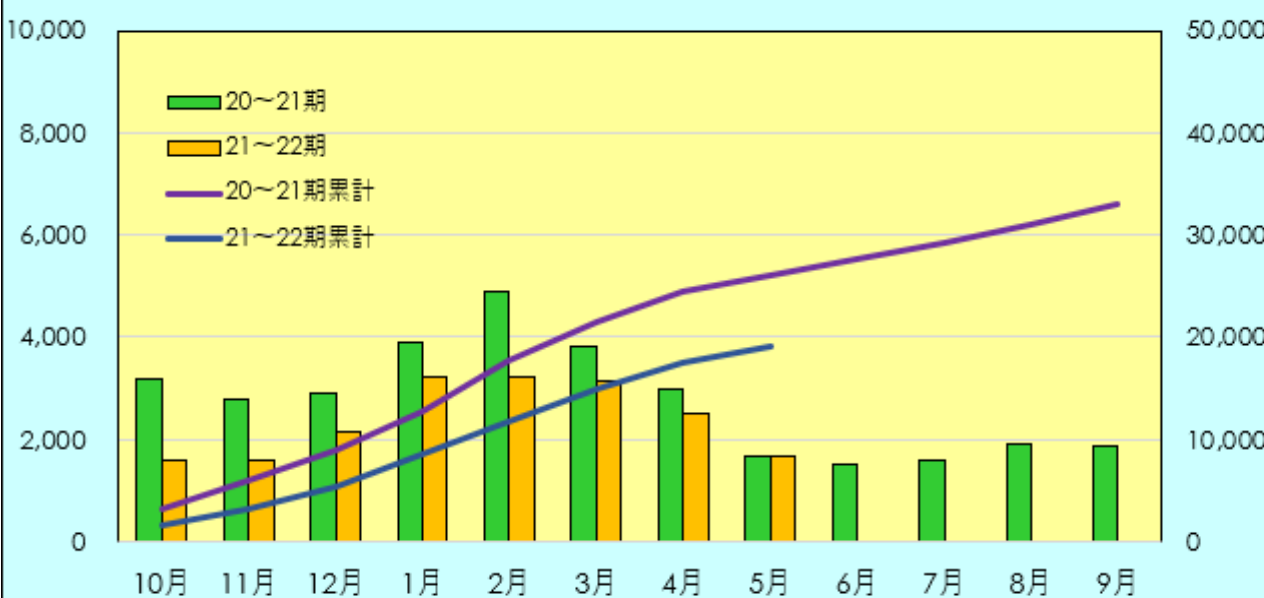
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

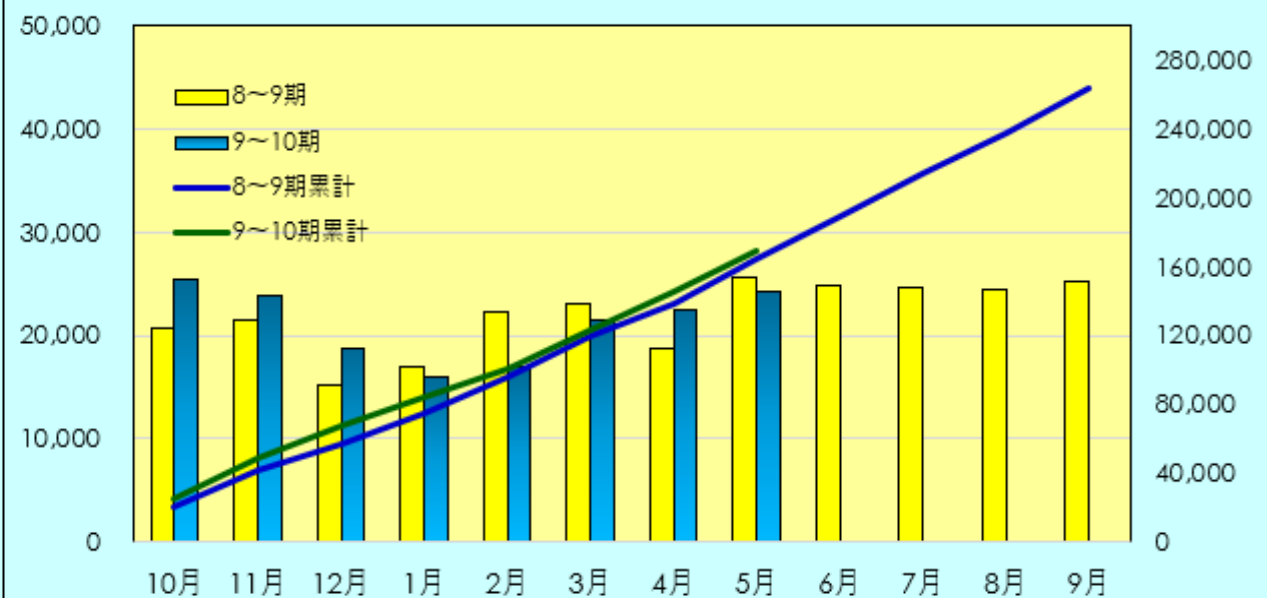
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

# ●協会けんぽ「健康優良企業・銀の認定証」が 1年間更新されました！

サンシン電気（株）は、2016年10月に「健康企業宣言」をし、2017年5月に協会けんぽ・東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」を受け、日々、健康企業宣言に資する健康経営・健康づくりの取組みを継続して進めてきました。

今年5月に7回目の認定を受けるべく更新申請をし、2024年5月31日まで認定期間が更新されました。

「銀の認定証」を受けるためには、社員の健康診断の100%の受診、特定保健指導の実施、職場の「食」「運動」「禁煙」についての継続した情報提供・共有等が必須です。

これからも社員とそのご家族の健康と幸せのために、健康経営・健康づくりへの取組みを積極的に進めて参ります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（5月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）



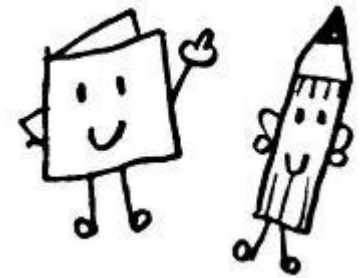
# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）



# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



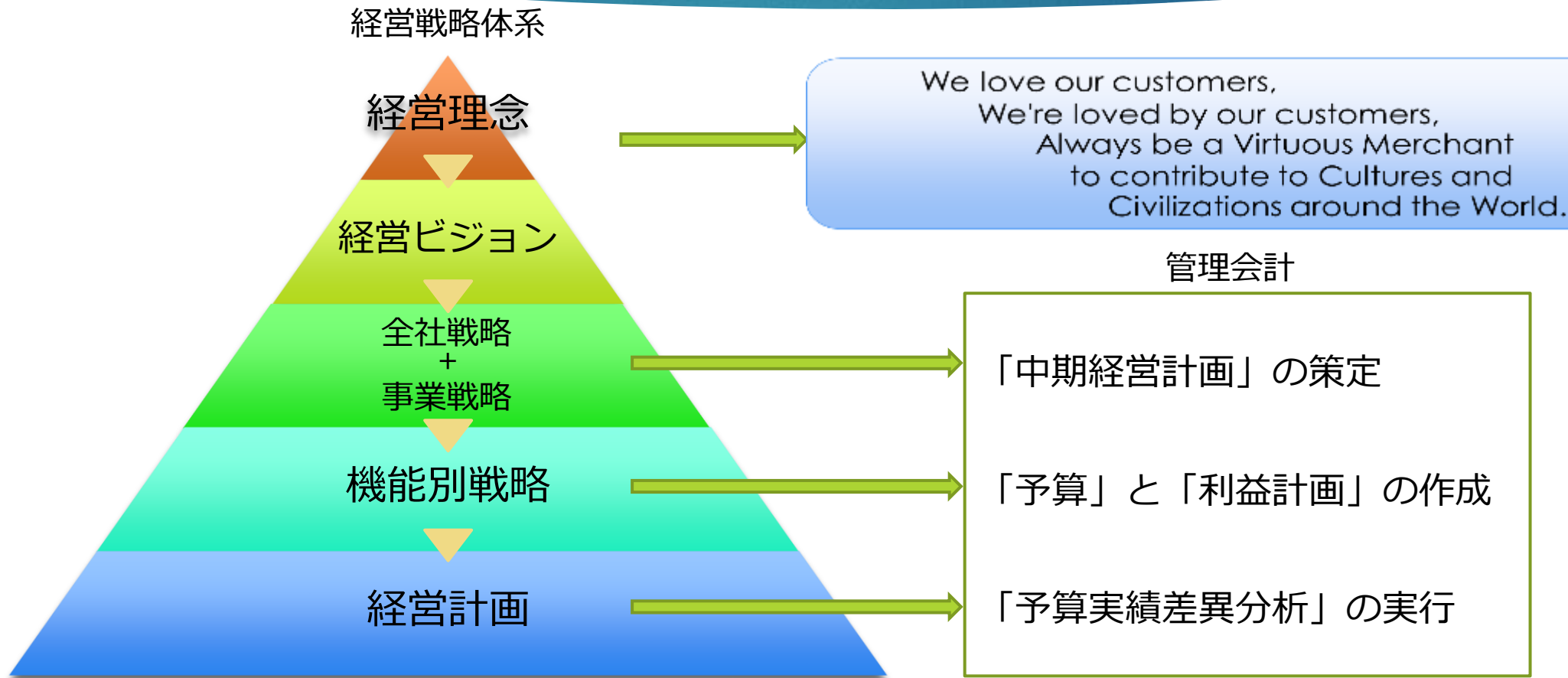
# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

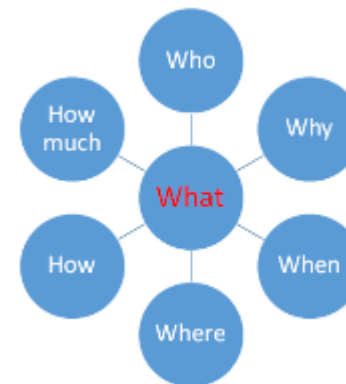


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



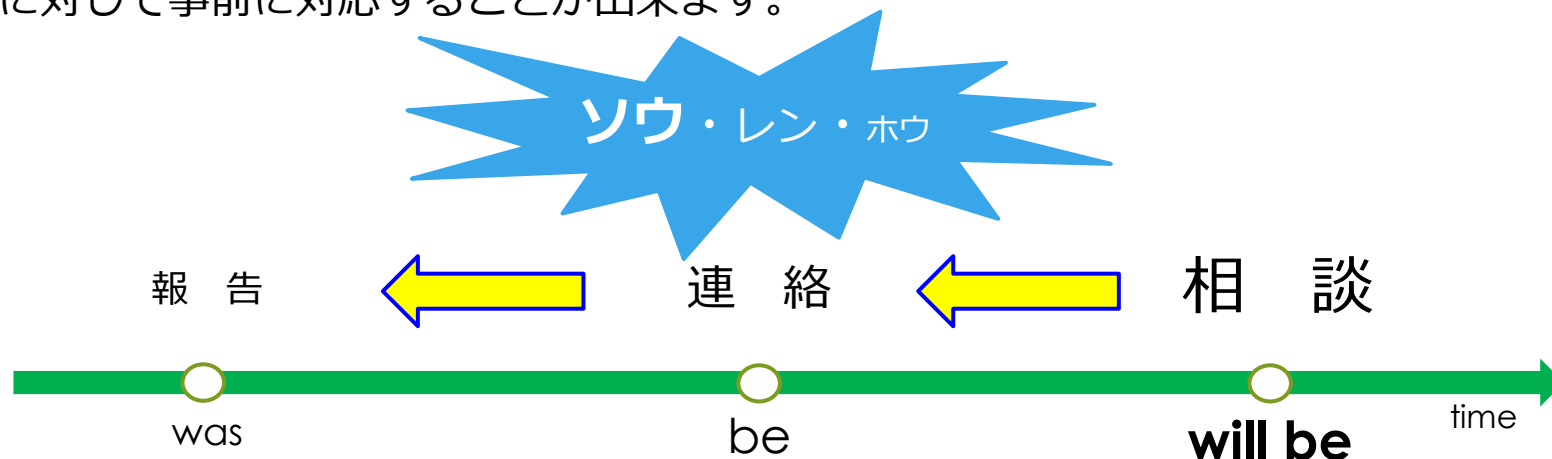
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集  
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

梅雨期は大雨による災害の発生しやすい時期です。また、梅雨明け後の盛夏期に必要な農業用の水等を蓄える重要な時期でもあります。一方、梅雨期は曇りや雨の日が多くなって、日々の生活等にも様々な影響を与えます。雨は必要だとわかっているにもかかわらず何となく憂鬱に感じてしまうものです。代謝も鈍るそうですので、適度に体を動かして水の巡りをよくするといいそうです。